

第 49 回熊本市 P T A ソフトバレー ボール大会実施要項

「さわやかな汗に会員相互の交流と親睦を深めよう」を合言葉にソフトバレーボール大会を実施いたします。

令和 4 年 9 月 3 日（土）中央・東・西・南区会場

9 月 10 日（土）北区会場

熊本市 P T A 協議会

厚生委員会

競技・練習・試合について

- 1 6人制のソフトバレーボールですが、9人制バレーボール競技規則を基本とします。
- 2 1セット21点、2セットマッチ（デュース無し）とします。
- 3 コートは、9m×18m（センターライン・アタックラインは、無しとします。）
- 4 試合用の規定のボールを使用すること。
- 5 練習では、使用する施設の規則を守り、後片付けをきちんとすること。
- 6 審判は選手の相互審判でありプロの審判ではないので、ご理解の上、和やかな大会になるようご協力ください。

大会の運営方法について

- 1 参加校を各区会場に分け、予選のリンク戦を行います。各会場は、5つの区を基準として分けられます。（対戦相手は同区のチーム）
なお、中学校・小学校の別、学校規模による区別はありません。
- 2 決勝：各会場の各コートリンク戦の1位チーム同士で優勝校決定戦を行います。
各リンクの2位チームを、3位（2チーム）とします。なお1コートのみ使用する会場ではコートリンク戦1位チームが優勝となります。

（各会場）（ ）内の時間は北区の場合 ※時間は変更になることもあります

1. 11：45（7：45）：各学校2名、会場に集合。駐車場管理、会場設営の説明。
2. 12：00（8：00）：整理及び会場・コート設営作業
3. 12：30（8：30）：選手集合、練習開始
4. 12：45（8：45）：主審・副審は本部前に集合（競技規則等の確認を行います。）
5. 13：00（9：00）：開会式（全チーム参加のこと。不参加は棄権と見なします。）

〈選手登録表とメンバー表の提出〉

- ・締め切りは、開会式終了後、第1試合開始前までとする。
なお、試合当日以前に選手登録表とメンバー表を提出する必要はありません。
（申込書に不備のある場合には、速やかに再提出してください。）
 - ・各チームの主審、副審の確認をします。（選手登録表にチェックしてある選手）
- 6 13：15（9：15） 試合開始
 - ・審判校は、主審・副審・ラインズマン4名・点示員2名、計8名の選手に出てもらいますので、よろしくお願ひします。

参加資格とチーム編成

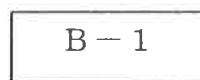
- 1 試合中は、6名のうち女性が3名以上の選手でチームが構成されるように確認してください。A区分（男女教職員）は任意での参加となります。
メンバーチェンジ要員は、最多8名まで認められますが、試合前のメンバー表の提出時には、セットごとに分けて決定してください。
チームとしては、最小12名が必要になります。また、最多24名まで登録できます。
- 2 1セットと2セットでは、選手は総入れ替えになります。
- 3 年齢制限はありません。
- 4 小学校、中学校の両チームに同じ人は所属できません。どちらの選手として参加するか、必ず1校に決めてください。
- 5 試合中に何らかの理由により、規定のチーム構成規則が守られなくなった場合には、試合は続行されますが、勝敗の如何にかかわらず結果は最下位となります。
- 6 選手不足による、同じ区内、又は同中学校区での区をまたいだ合同チームも許可します。

競技上の各種注意事項

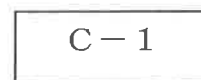
- 1 ゼッケンのつけ方
 - (1) チーム名 : 原則として、後背部につけてください。
 - (2) 選手区分ゼッケン : 長さ18cm×幅13cm程度のゼッケンを下記の要領で作成し、背部につけてください。



A 教職員



B 男性保護者



C 女性保護者

※ ゼッケン等をつける際には、安全ピン類は絶対に使用しないで下さい。

- 2 ベンチ
ベンチには、監督・マネージャー・選手・世話係（3名以内）以外は入ることができません。世話係の人は、単位PTAの腕章をつけてください。
- 3 けがの防止について
 - (1) 準備運動を各自十分に行うとともに、練習については、無理のないようにご配慮ください。
 - (2) けが・事故の発生については、**熊本県PTA共済の適用対象内です（各単P行事としての練習も含む）。試合当日は別途保険も加入いたします。**

※所属チームの学校に属する子どものみ、保護者の応援であれば保険適用となる。ただし試合会場外での事故は適用外 詳細は所属チーム P 災担当にご確認ください。

- (3) 腕輪・ピン・指輪・かぶりもの・その他の金属装身具などは、危険防止のためにも試合中は、はずしてください。

4 会場内の整理整頓について

- (1) 各チームで出たごみ等はすべて持ち帰ること。
会場のごみ入れ等は使用しないでください。
- (2) 体育館内は土足禁止であり、「土足禁止」の表示には留意・遵守してください。
喫煙については、敷地内禁煙となっておりますので、ご協力をお願いします。
なお、会場施設の他の教室等には立ち入らないでください。
- (3) 試合後の会場整理は、最終試合の両チームを中心に実施してください。
トイレ掃除は必須
- (4) 駐車は指定された場所のみを使用すること。
各学校の運動場内には許可のない限り絶対に乗り入れないようにしてください。

5 審判について

- (1) 主審・副審用の電子ホイッスルは各会場に市 P から準備しております。
- (2) 主審・副審は、審判時には秒針付きの時計を使用してください。
- (3) 試合開始時刻になったら、主審は両チームの主将を呼んで、ジャンケンにより勝った方がサーブ権又はコート of のいずれか一つを選び、勝ったチームから 3 分間の公式練習を直ちに開始させてください。
- (4) ラインズマンは、副審からメンバー表（様式 3）を受け取り、出場選手と相違ないかの確認をしてください。
- (5) 両チームの全員が、エンドラインにネットに向かって右を先頭に（サーブ順）整列し、主審のホイッスルの合図で、ネット付近で相手チーム全員と握手して試合開始とします。
- (6) 副審のホイッスルで、スターティングメンバーのみがネットに背を向けてエンドラインに左からサーブ順に整列し、副審が選手区分構成をチェックし、セットの開始とします。
- (7) セットとセットの間は 2 分間取ります。
- (8) 試合終了時には、直ちにコート上の選手がエンドラインに整列し、主審のホイッスルの合図で、ネット付近で相手チームと挨拶します。（握手等はなしとする）
- (9) 試合終了後直ちに、点示員は点数記載カード（点示員用）に記入し、本部に勝敗と点数を報告し、試合表に記載します。
- (10) 審判校は、主審・副審・ラインズマン 4 名・点示員 2 名の計 8 名の選手を審判要員としてご協力願います。

6 競技規則・使用ボールについて

(1) 市PTAソフトバレー競技専用ルールを良くお読みください。

(2) タイム、メンバーチェンジについて

① 1セット中に、対戦中のチームがそれぞれ2回のタイムを取ることができます。

(1セット中に最多4回のタイムを取ることができます。)

② タイムは、1回につき30秒間で、連続して2回分を取ることもできます。

③ メンバーチェンジは、タイムとは別のものです。

④ 1セット目と2セット目のメンバーチェンジ要員は、それぞれのセットに登録された人しか起用できません。

(3) 試合に使用するボールは、次のとおりとします。

円周：78±1cm、重量210±5g

MIKASA：MS-N78

(4) セットとセットの間の休憩は2分間です。Aコート・Bコート、試合終了したコートは待機しておく。(その時の気候状況により窓を開放する)

(5) 第1セットと第2セットの選手は、総入れ替えになります。試合前には、必ずメンバー表を副審に提出してください。用紙は、本部にありますのでご利用ください。

(6) 点示員の方は、試合終了後直ちに結果を本部に報告し、内容を試合表に記入してください。

(7) 試合中にけがや事故が発生した場合には、必ず本部まで報告し、適切な処置をお願いします。救急車等は本部（市P理事）で手配します。

(8) けがのないように、各自で十分なストレッチ・ウォーミングアップをなさいますようお願いいたします。

(9) 決勝戦の第3セットに限り（チーム構成のルールを厳守の上）ベストメンバーで出場出来る。

7 勝チームの決定方法

(1) 2セット獲得したチーム

(2) 獲得セットが1セットずつの場合、得失点差の大きいチーム

(3) 得失点差が無い場合は、代表5人による「じゃんけん」で決定

(4) 予選、決勝戦ともに21点、予選は2セット、

決勝戦は3セットマッチ（デュース無し）

8 順位の決定方法（同じリンク内で同勝・同敗の場合）

(1) 獲得セット数の多いチームが上位

(2) 総得点の高いチームが上位

(3) 得失点差の大きいチームが上位

(4) 代表5人による「じゃんけん」で決定

9 会場の後片付けのお願い

最終試合チームと会場校が中心となって行いますが、他の皆さんのご協力もよろしくお願ひします。

10 その他

駐車については、各会場ともに駐車スペースが限られていますので、なるべく各校で乗り合わせをお願いします。

試合日程

令和4年9月3日(土) 中央・東・西・南 / 9月10日(土) 北区のみ

11:45 (7:45)	会場校に集合、コート設営	
12:30 (8:30)	練習開始	
13:00 (9:00)	開会式	
	①開会宣言	厚生委員 (司会進行)
	②挨拶	市P理事
	③挨拶	会場校校長
	④選手宣誓	抽選番号A-1の単P
	⑤予選進行の説明	厚生委員
	⑥諸連絡	会場校
	⑦準備体操	厚生委員
開会式終了後	試合開始	
試合終了後	閉会式	
	①開会	厚生委員 (司会進行)
	②成績発表並びに表彰 (優勝・準優勝)	会場校校長又は市P理事 ⇒優勝校の校歌演奏
	③閉会宣言	厚生委員
17:00 (13:00)	終了予定	

令和4年度 熊本市PTAソフトバレーボール

競技専用ルール

(1) コート、ネット、アンテナ、ボール (別紙、別図1・2)

- ① コートサイズ
 - ・長さ 18m、幅 9m
 - ・センターライン、アタックラインはなし。
 - ・ライン幅は、コートの大きさに含まれる。
- ② ネットの高さ
2m30cm
- ③ アンテナ位置
両サイドライン（ネットの白リボンと一致）より20cm外側
- ④ 試合ボール
ソフトバレーボール
日本バレーボール協会認定球
外周 78 ± 1 cm、重量 210 ± 5 g
参考（メーカー型番 MIKASA : MS-N78）
※ 糸巻きタイプは、試合には使用しない。

(2) チーム、ポジション及びチェンジコート

- ① 6人制。ローテーションは無し。ポジション変更は自由とする。
- ② サーブが打たれる前でも、選手はコート外に出てもよい。
- ③ 1セット目と2セット目のコート内の選手は、全員異なるものとする。ただし、各セットともに、6名のうち女性が3名以上で選手構成するものとする。
- ④ セットが代われば、コートを代わる。(チェンジコート)

(3) 点数とセット数

- ① 1セット21点制、デューズなしで2セットマッチ。
- ② 決勝戦のみ21点制、デューズなし3セットマッチとする。

(4) サーブ

- ① サーブは1本で、ラリーポイント制とする。(失敗した場合は、相手のポイントになる。)
- ② サーブは、エンドラインを踏まなければサイドラインの延長線に挟まれたサービスゾーン(別紙、別図1)のどこから打ってもよい。
- ③ サーブの打ち方(下手サーブ、フローターサーブ、ドライブサーブ、ジャンピングサーブなど)に制限はない。

- ④ サーブを打つ態勢で一旦トスを上げたボールを打たなかった場合は、フォルト（失敗）となる。やり直しはできない。
- ⑤ サーブしたボールがネットに接触した場合は、フォルト（失敗）とする。
- ⑥ サーブ順は各セットで変更できるが、セット毎に提出されたメンバー表のサーブ順に従って行う。メンバーチェンジした選手もチェンジ前の選手の順番でサーブしなければならない。
- ⑦ サーブは、主審のホイッスル後、8秒以内に打たなければならない。
8秒以内に打たなかった場合は警告し、繰り返した場合はサービスミスとする。
- ⑧ サーブを最初に打つチームは、試合開始時にジャンケンで決める。セットが変わり、次のセットの最初のサーブは前セットの最終サーブを打ったチームではないチームが打つ。

(5) 打球とネットプレー

- ① ボールは身体のどの部分で触ってもよい。
- ② ボールに触れる際に身体の一部で静止した状態になってはいけない。「ホールディング」の反則。
- ③ 味方コートに入ってきたボールは3回まで触れることができる。
2回以下で返してもよい。3回の接触のうち同じ選手が2回触れてもよいが、2回続けてボールに触れてはならない。「ドリブル=ダブルコンタクト」の反則。
ただし、相手コートからの最初（第1打）をレシーブする際のみ、身体の2カ所で触ってもよい。
- ④ ブロックの接触も1回と数える。
- ⑤ サーブ以外のボールがネットに接触しても反則ではない。
- ⑥ 1回目でも、2回目でも、3回目の接触後でもボールがネットに触れたときは、もう1回だけ余計に触れてもよい。（ただし、この特例のネット接触は1回までとする。この場合、同じ選手が2回続けて触ってもよい。）
- ⑦ ブロックの時は、ボールがブロッカーに2度以上あたっても、瞬時の場合はドリブルにはならず、1回と数える。
- ⑧ ブロックしたボールに同じ選手がもう一度触れても良いが、瞬時ではない場合は2回と数える。
- ⑨ サーブが打たれてから、ポイントが決まるまでの間、選手はネットに触れてはならない。「ネットタッチ」の反則。
ただし、ボールの流れとは関係のない場面でのネットタッチは反則ではない。（この場合のネットとは、マーカーアンテナよりも外側の部分も含む。）
ただし、ネットを引っ張るワイヤーとひも、ネットを支える支柱に触ってもよい。
(別紙、別図2)

【審判をされる方へ】

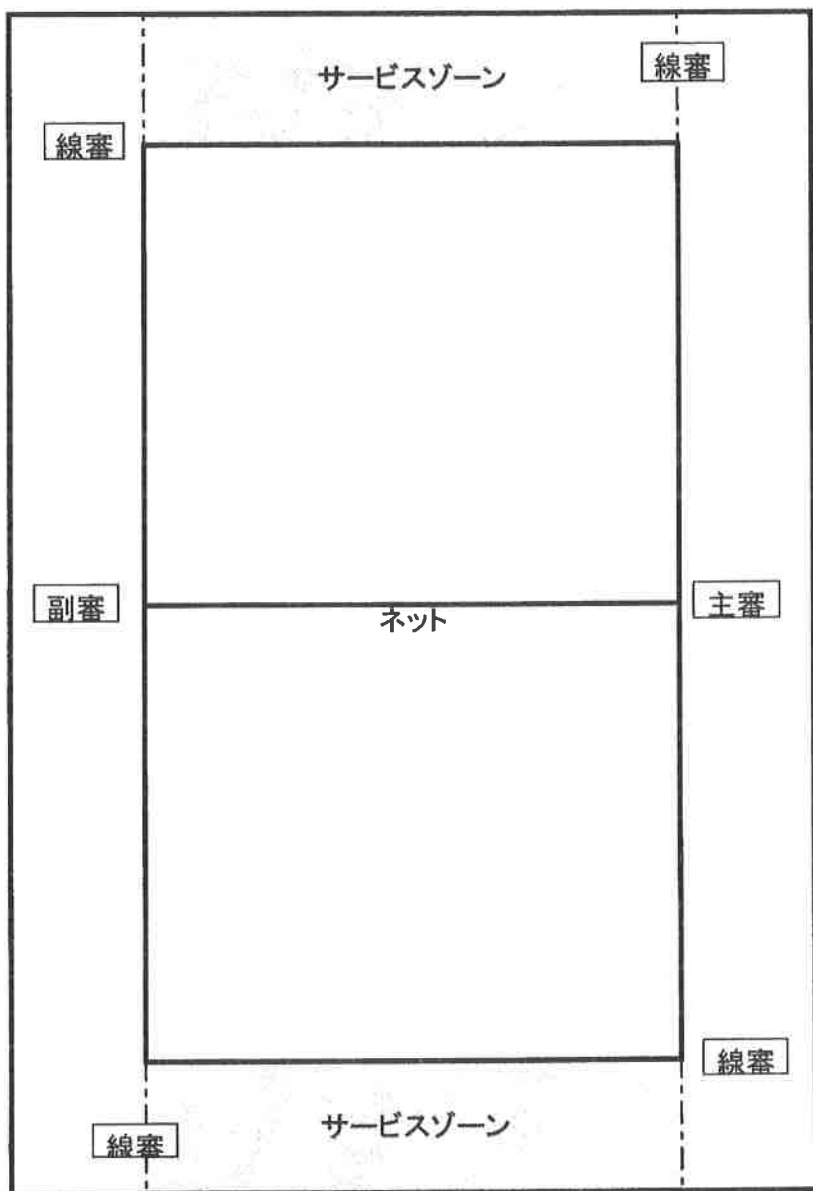
- (1) 主審・副審用の電子ホイッスルを2個準備しております。
- (2) 主審・副審は、審判時には秒針付きの時計を使用してください。
- (3) 試合開始時刻になったら、主審は両チームの主将を呼んで、ジャンケンにより勝った方がサーブ権又はコートのおいずれか一つを選び、勝ったチームから3分間の公式練習を直ちに開始させてください。
- (4) ラインズマンは、副審からメンバー表(様式3)を受け取り、出場選手と相違ないかの確認をしてください。
- (5) 両チームの全員が、エンドラインにネットに向かって右を先頭に整列し、主審のホイッスルの合図で、ネット付近で相手チーム全員と挨拶試合開始とします。
- (6) 副審のホイッスルで、スターティングメンバーのみがネットに背を向けてエンドラインに左からサーブ順に整列し、副審が選手区分構成をチェックし、セットの開始とします。
- (7) 試合と試合の間隔は10分間。
- (8) 試合終了時には、直ちにコート上の選手がエンドラインに整列し、主審のホイッスルの合図で、ネット付近で相手チームと握手します。
- (9) 試合終了後直ちに、点示員は点数記載カード(点示員用)に記入し、本部に勝敗と点数を報告し、試合表に記載します。
- (10) 審判校は、主審・副審・ラインズマン4名・点示員2名の計8名の選手を審判要員としてご協力願います。

競技規則・使用ボールについて

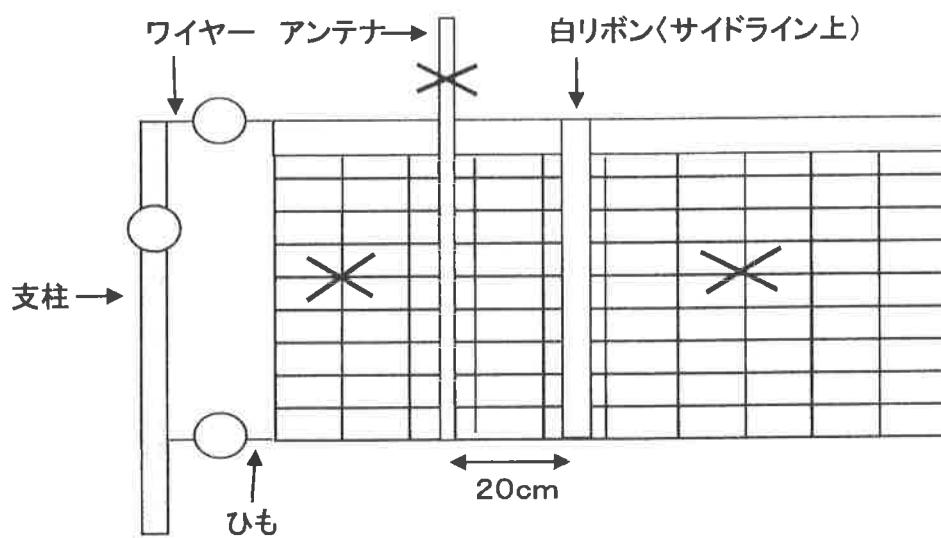
- (1) 市PTAソフトバレー競技専用ルールを良くお読みください。
- (2) タイム、メンバーチェンジについて
 - ① 1セット中に、対戦中のチームがそれぞれ2回のタイムを取ることができます。(1セット中に最多4回のタイムを取ることができます。)
 - ② タイムは、1回につき30秒間で、連続して2回分を取ることもできます。
 - ③ メンバーチェンジは、タイムとは別のものです。
 - ④ 1セット目と2セット目のメンバーチェンジ要員は、それぞれのセットに登録された人しか起用できません。
- (3) 試合に使用するボールは、次のとおりとします。

円周：78±1cm、重量210±5g
MIKASA：MS-M78

(別図1)



(別図2)



×に触れれば反則
○は触れてもプレーに影響なければセーフ